

[標準様式例 7-3]

随意契約結果及び契約の内容

業務の名称	R5 レーダ雨量計合成システム管理・評価業務
業務概要	本業務は、国土交通省が所管するレーダ雨量計の全国合成システムの運用管理記録及びレーダ雨量データ収集、整理を行うとともに、得られたデータを元に精度評価を実施し、観測精度の向上・改善検討を行うものである。
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	支出負担行為担当官 関東地方整備局長 藤巻 浩之 埼玉県さいたま市中央区新都心2番地1 支出負担行為担当官 北海道開発局開発監理部長 池下 一文 北海道札幌市北区北8条西2丁目 支出負担行為担当官 東北地方整備局長 山本 巧 宮城県仙台市青葉区本町3丁目3番地1号 支出負担行為担当官 北陸地方整備局長 遠藤 仁彦 新潟県新潟市中央区美咲町1丁目1番1号 支出負担行為担当官 中部地方整備局長 佐藤 寿延 愛知県名古屋市中区三の丸2丁目5番1号 支出負担行為担当官 近畿地方整備局長 見坂 茂範 大阪府大阪市中央区大手前3丁目1番41号 支出負担行為担当官 中国地方整備局長 中崎 剛 広島県広島市中区上八丁堀6番30号 支出負担行為担当官 四国地方整備局長 荒瀬 美和 香川県高松市サンポート3番33号 支出負担行為担当官 九州地方整備局長 森戸 義貴 福岡県福岡市博多区博多駅東2丁目10番7号 支出負担行為担当官 沖縄総合事務局開発建設部長 坂井 功 沖縄県那覇市おもろまち2丁目1番1号
契約年月日	令和5年7月10日
契約業者名	一般財団法人 河川情報センター
契約業者の住所	東京都千代田区麹町1-3 ニッセイ半蔵門ビル
契約金額	109,989,000 円(税込み)
予定期格	109,989,000 円(税込み)
随意契約によることとした理由	本業務を遂行するためには、高度な技術や経験を必要とすることから、雨量算定係数の同定及び精度評価手法について技術提案を求め、簡易公募型に準じたプロポーザル方式(拡大型)により選定を行った。 一般財団法人 河川情報センターは、技術提案書をふまえ、当該業務を実施するのに適切と認められたため契約を行うものである。
業務場所	関東地方整備局管内
業種区分	土木関係建設コンサルタント業務
履行期間(自)	令和5年7月11日
履行期間(至)	令和6年3月22日
備考	会計法29条の3第4項 予決令第102条の4第3号
備考	公表対象随意契約が単価契約である場合には、契約金額欄に契約単価を記載するとともに、備考欄に単価契約である旨及び契約単価に予定調達数量を乗じた額を記載する。